

日々の授業で行う教科横断的な視点に立った活動について

2019(令和元)年度高英研第13回『授業力向上ワークショップ』

北海道釧路湖陵高等学校
林 智子
mlletomoko@hokkaido-c.ed.jp

自己紹介

●2010～2015 網走南ヶ丘高等学校

2012 研究指定事業「英語力を強化する指導改善の取組」

2013 研究指定事業「英語によるコミュニケーション力・論理的思考力を強化する指導改善の取組」担当

2014 「北海道アルバータ州高校生交換留学促進事業」受入担当

「対日理解促進プログラム(JENESYS2014)タイ派遣」生徒引率

2015 「教職経験者(高等学校)研究協議会」 実践発表

●2016～ 釧路湖陵高等学校 (SSH推進部・ワーキンググループ・外国語部顧問)

2016 「初任段階教員研修(2年次)」 公開授業

2017 「北海道アルバータ州高校生交換留学促進事業」生徒引率

「道東ブロックSCRUM研究大会」 研究授業発表

2018 第12回高英研セミナー「授業力向上ワークショップ」講師

学力向上実践セミナー「教科指導講座(道東ブロック 外国語)」講師

「対日理解促進交流プログラム(JENESYS2018)韓国派遣」生徒引率

「北海道グローバル人材育成キャンプ(厚岸会場)」運営・講師

2019 第13回高英研セミナー「授業力向上ワークショップ」講師

「北海道アルバータ州高校生交換留学促進事業」受入担当

●実用英語技能検定面接官

● JICA国際協力高校生エッセイコンテスト第一次審査員

本日のワークショップ

1. 釧路湖陵高等学校について

2. 『主体的・対話的で深い学び』をめざして

3. 教科横断的な視点に立った活動について

4. 政治経済と英語のMicro Debate

1. 釧路湖陵高等学校

概要

- 道東の進学校 約700名
- 全日制普通科 理数科(1間口)・普通科(5間口)

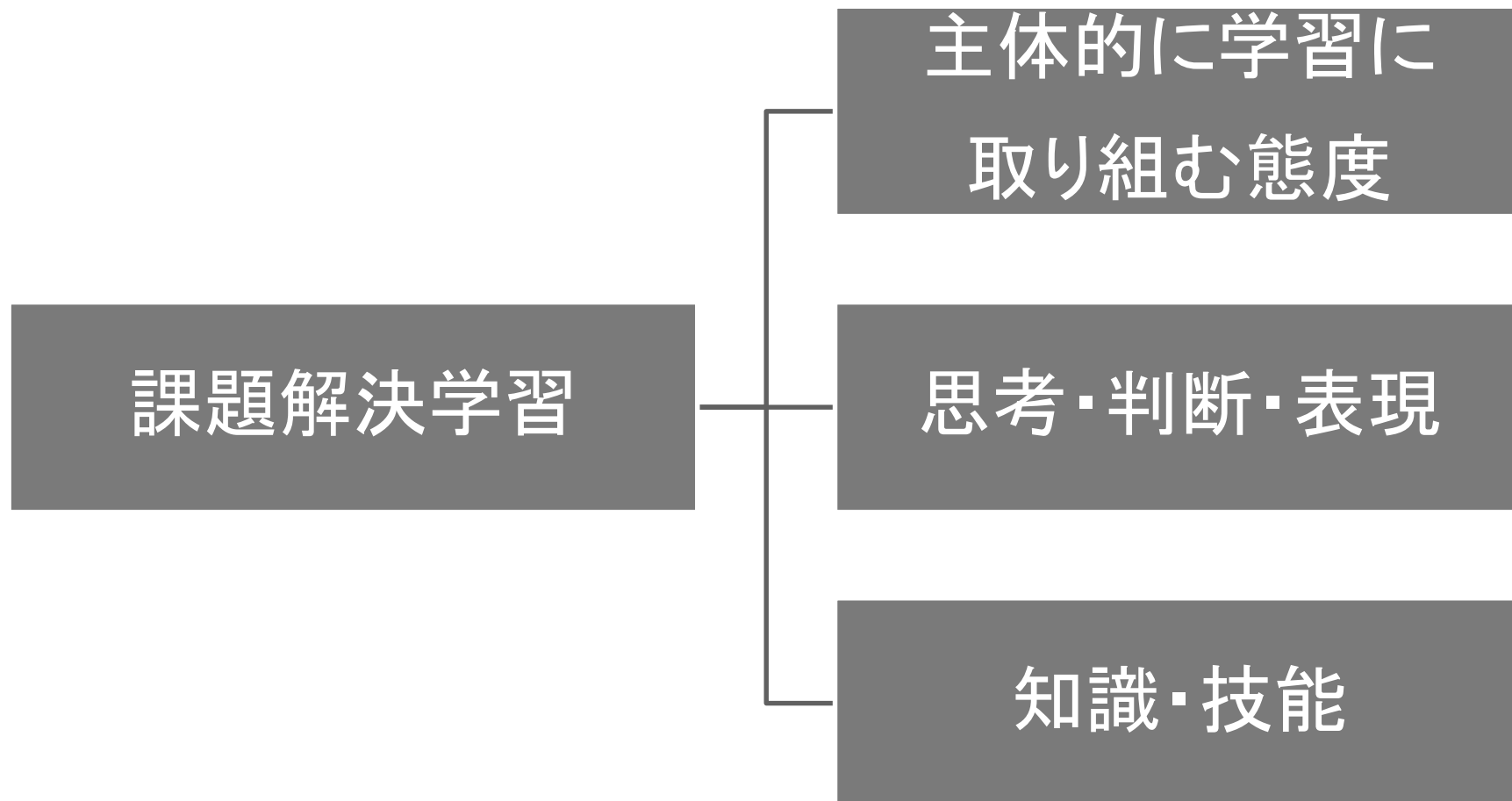
指定事業

- 医進類型指定校
- Super Science High School (SSH)
- アクティブ・ラーニング実践研究道東地区研究拠点・サポート校

英語科

- H29～指導方法を英語科全体で統一
- コミュニケーション中心の授業
- 2学年 スタディサポート: 平均GTZ B1(1学年)→A3(2学年)

2. 『主体的・対話的で深い学び』をめざして



2. 『主体的・対話的で深い学び』をめざして

課題解決学習

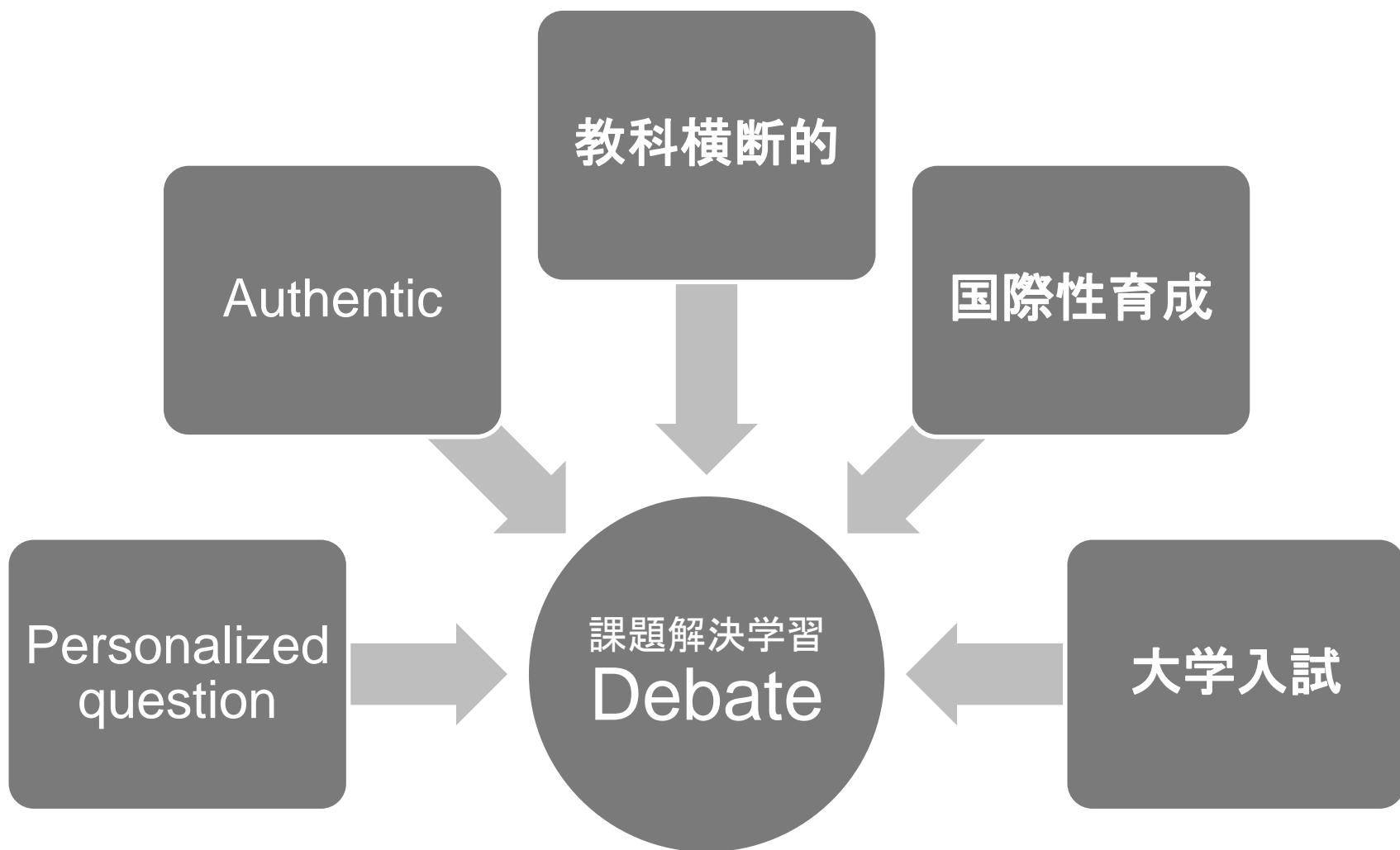
- ・主体的
- ・協働的

正解のない問い



納得解・最適解

2. 『主体的・対話的で深い学び』をめざして



3. 教科横断的な視点に立った活動について

Mock Debate (ペア)

- 授業での帯活動、やり取り
- 肯定と否定、ジャッジなし
- 立論＋反駁
- 即興

Micro Debate (3人1グループ)

- 単元の最後(2ヶ月に1回程度)、
- 肯定・否定・ジャッジ
- 立論＋反駁＋判定
- 教科横断的な視点

Debate (3~5人1グループ)

- パフォーマンステスト(1回)
- 肯定・否定・ジャッジ
- 立論2つ＋反駁＋まとめ＋判定

Mock Debate

A: 肯定側
B: 否定側

(立論) **A:** I believe **Topic**, because 理由 _____ .



(反駁) **B:** You said Aの理由の繰り返し or 自分の言葉でまとめ .
but it is not **(always) true,**
special,
likely to happen,
important,
a good thing but a bad thing,
because 理由 _____ .

(立論) I don't believe **Topic**, because 理由 _____ .



(反駁) **A:** You said Bの理由の繰り返し or 自分の言葉でまとめ .
but it is not **(always) true,**
special,
likely to happen,
important,
a good thing but a bad thing,
because 理由 _____ .

Micro Debate

- A: 肯定側
- B: 否定側
- C: 判定

(立論) **A:** I believe **Topic**, because 理由 _____ .



(反駁) **B:** You said Aの理由の繰り返し or 自分の言葉でまとめ .
but it is **not (always) true,**
special,
likely to happen,
important,
a good thing but a bad thing,

because 理由 _____ .

(立論) I don't believe **Topic**, because 理由 _____ .



(反駁) **A:** You said Bの理由の繰り返し or 自分の言葉でまとめ .
but it is not **(always) true,**
special,
likely to happen,
important,
a good thing but a bad thing,

because 理由 _____ .

(判定) **C:** I think (that) A's / B's opinion is better because AとBの意見の繰り返し or まとめ + その理由 . Therefore, the winner is A / B.

教科横断の視点に立ったMicro Debate

【理数科】 生物と英語

- 目的: 生命倫理について理解を深める
例①(教科書・TT): ゲノム We should edit human genome.
例②(実習・論文): ブタの解剖 We should perform organ transplants.

【理数科・普通科】 情報と英語

- 目的: ネットのマナーや倫理観を育成する
例①(教科書・TT): インターネット We should use Wikipedia.

【普通科】 政治経済と英語

- 目的: 日本社会が抱える課題について問題意識を持つ
例①(教科書): 少子高齢化社会 Consumption taxes should rise.

教科横断の視点に立ったMicro Debate

Topic

- 生徒が真剣に考えるような発問の工夫
 - ①正解がない
 - ②できるだけ究極な選択
 - ③personalized topic
 - ④題材がauthentic

教科横断

- 他教科教諭とのすりあわせ
 - ①トピック
 - ②内容
 - ③進度
 - ④日程
- 活動に目的があるか

必要なもの

- Projector
(黒板に写す)
- TabletまたはPC
(Power Point)
- Handout
(Writing sheet,
Flow sheet,
Word list,
Rubric)

実施において大切なこと

Preparation

- 肯定・否定の立論、反駁を事前に考える機会を与える←難しい内容ほど時間をかける
- 他教科の先生の授業
- Small Talk
- TextbookのQ&A
- Mock Debate
- Group Work→黒板を使って全体確認。
- 英作文

Micro Debate Writing

- **Micro Debate**
←Fluency重視
Positive Feedback や Paraphraseで間違いに気づかせる
- **Writing**
←accuracy重視
単語や文法を調べて英作文

Note taking

- Flow Sheetに書くのは keywordのみ
- keywordを見ながら reproduction、または自分の言葉でsummary
- 授業で常に練習

4. 政治経済と英語の Micro Debate

【普通科】政治経済と英語

目的: 日本社会が抱える課題について問題意識を持つ

例① 教科書: 少子高齢化社会

Topic: Consumption taxes should rise.

政治経済の授業 / 英語の授業

通常授業 + 英語の教科書に沿った内容

教科書横断的な視点に立った活動① Micro Debate

スライド説明 + Micro Debate 1回目

教科横断的な視点に立った活動② Micro Debate

Micro Debate 2回目 + Writing

英語の授業

ALTとTT授業(各国が抱える問題について)